



## 北の台小学校の学年発表会に今回も招待される

北の台小学校では、6月8日（金）に2・4・6年生の“学年発表会”を催しましたが、保護者および地元の敬老の皆さんと共に今回も大上と蓼川の地区社協の下校時見守り会員も招待され、大上地区社協から市ノ澤会長以下11名が出席しました。

この学年発表会は毎年1・3・5年生（今年は11月の予定）と、今回の2・4・6年生が発表する年2回の催しです。

当日は、午前9時45分から同校体育館で、2年生全員の81名による音楽劇「11ぴきのねこ」に始まり、4年生の97名によるシュプレヒコール劇「八郎」、最後に6年生91名による北の台太鼓「響動・ともに刻め」が発表され、児童の皆さんが日頃の練習の成果を存分に発揮した演技に、集まった見学者は盛大な拍手を送っていました。

発表会は、最後に内藤校長から「今回は、2年生によるユーモアある音楽劇、4年生は人を助けて喜びを感じる大切さ、6年生の太鼓は、体力はいるが努力して頑張ればできる事を知った意義ある発表会になりました。」という挨拶があった後、見学者からアンコールの手拍子が湧き上がり、再度6年生全員が一つのリズムを作り上げた素晴らしい太鼓の調べが再披露され、惜しめない拍手をもって午前11時半過ぎに終わりました。



2年生のユーモアある音楽劇



4年生のシュプレヒコール劇



地区社協会員も招待されて見学する



6年生の北の台太鼓の響動

## 中村地区社協と交流会を開催

中村地区社協の吉原会長から“大上地区社協の活動は大変充実しているのので、中村地区社協の全体会議の際に大上地区社協の活動状況を話して欲しい”という依頼を受け、6月10日（日）に市ノ澤会長と共に岩月、今井、木藤の3理事も同行して中村自治会館において、市ノ澤会長が大上地区社協の活動内容を説明しました。

当日は、午後1時から1時間にわたり、27名の皆さんを前にして、パワーポイントを活用した市ノ澤会長の話には、出席者は熱心に聞き入っていました。そして質疑応答では、色々と質問があり、市ノ澤会長は丁寧に答えていました。

特に、出席者の1人は「大上は大勢の皆さんが参加しているのですね。素晴らしいお話を聞かせて頂いてありがとうございました。中村も頑張ります。」と意気込みを語っていました。

なお、中村地区は人口6,300人（大上は8,500人）で、地区社協会員は40人（大上241人）で構成されています。



パワーポイントを使って説明する市ノ澤会長